α 金利編 #4. 複利計算と指数計算 腕試し問題

α 金利腕 4 (AKU 4)

				(
学籍番号	氏 名	提出方法(〇 で囲む)	答案枚数	提出(〇 で囲む)
		対面 / 提出用フォルダ / FAX / 郵送	枚	新規 / 再提出

【LA記入】 提出日時	添 削 日 時	得 点
/ () :	/ () : 担	/10 点

この授業で得た知識を駆使し、次の問題を解きなさい(10点満点).

解答は枠内に、濃く はっきり と記入すること.

◆ 要説明 の問では、答えを導くための過程を数式や日本語で詳しく説明すること。答えのみの場合は 0 点とする。 (高校までの数学を除いて) 授業を超えるような知識・定理を使うのであれば説明・証明してから使うこと.

教科書の定理を用いて,下記の主張を示せ.	
(1) 🛕 要説明 $0 < r < s$, $1 < a < b \Rightarrow a^r < b^s$.	- BB // \
解答にかかった時	f间分)
(2)	
(解答にかかった時	· 間分)
(3) 「 $0 < r < s$, $1 < a < b \Rightarrow a^s < b^r$ 」,「 $0 < r < s$, $0 < a < b < 1 \Rightarrow a^r < b^s$ 」が一般に成りまを反例を挙げることにより示せ.	立たないこと
(解答にかかった時	間分)
【解答欄】	 【LA 記入】
	口頭説明
	あり・ なし

α金利編 #4. 複利計算と指数計算 腕試し問題

α 金利腕 4 (AKU 4)

- ※ 再度、学籍番号と氏名を記入し、この解答用紙が何枚中何枚目となるのか以下に書きなさい.
- ※ 1 枚目で解答が完了した場合はこの用紙を印刷・提出する必要はない.
- ※ この用紙は今回限りの使用とし、別問題の解答時には使用しないこと.

学籍番号:	氏名:	枚目/	枚中
【解答欄 つづき】			
			【LA 記入】